

インド最新動向レポート（2023年1月）

◎インドで働く人の8割は今年中の転職を検討

インドで働く人の8割が今年中の転職を考えていることが分かった。転職先については、78%が「見つかると確信している」、32%が「自分の能力に自信があり、現在より良い職を見つけられると思っている」という。

◎2023年の日系昇給率は9.3%予測 過半数の企業が人件費上昇を許容

インドに進出している日系企業の2023年の昇給率が平均9.3%になることが分かった。なお、人件費の上昇を「感じる」と答えた企業は9割を超えた。

◎ロッテ アイス子会社に72億円投資

ロッテはインドの子会社ハブモア・アイス・クリームに向こう5年間で45億ルピー（約72億円）を投資する方針を明らかにした。新工場で生産するのはロッテブランドの高級アイスクリームで、2024年末までの稼働を目指している。

◎72年前に始まった国内最長訴訟が終了

コルカタ高等裁判所で、国内で最も長期間にわたった訴訟が終了した。

◎プラごみリサイクル率 わずか3割で足踏み

インドのプラスチック製品のリサイクル率は廃棄量の3割にとどまっている。インドのプラスチック消費量は、2016年度の1,400万トンから2019年度に2,000万トンに増加した。廃棄量も増え、プラスチックごみの年間排出量は約340万トンに達している。リサイクルされているのは3割で、残りは埋め立て処分などになっている。

◎2022年の新車販売は26%増の472万台 2年連続プラス 日本抜き世界3位

インド自動車工業会（SIAM）は、2022年の国内新車販売台数が、前年比25.7%増の472万5,472台だったと発表した。2年連続のプラス成長。車の合計販売台数は日本の約420万台（登録ベース）を抜き、新車販売台数で中国と米国に次ぐ世界3位に躍り出た。

◎2022年の電動車販売は100万台 前年比3倍 二輪が急拡大

インドでは昨年、四輪、三輪、二輪を合わせた電動車販売が100万台を突破した。政府の補助金やメーカーの積極的な新モデル投入によって二輪が急増し、前年の32万台から3倍超に拡大した。

◎印の経済成長 中長期は堅調、23年は利上げ影響で一時減速か

2022年のインド経済は、景気が緩やかに回復したものの、米連邦準備理事会（FRB）の積極的な利上げや、内需回復と原油高に伴う輸入額の増加を受け、ルピー安（対米ドル）とインフレに悩まされた。この二つを抑制するため、インド準備銀行（中銀）は5回の利上げを実施。23年は、準備銀の利上げが影響し、経済成長が一時減速する見通しだ。

◎インドが今年人口世界一に 政治経済で台頭

14 億人超の人口を抱えるインドは今年、人口で中国を抜き、世界一になる見通しだ。
50 年にはインドが 16 億人を超える一方、中国は 13 億人強に減る見込み。

以上

NakajimaConsultancyServicesLLP
OfficeA-22,GreenParkMain,AurobindoMarg,NewDelhi-1100016